

行政調査報告書

- 福岡県議会
- 佐賀県議会
- 環境芸術の森

令和7年1月20日（月）～21日（火）

大阪維新の会大阪府議会議員団

◇視察期間

令和7年1月20日（月）～1月21日（火）

◇視察参加者

三田 勝久議員（※）、西林 克敏議員、三橋 弘幸議員、
牛尾 治朗議員、岩本 ゆうすけ議員（※日帰り参加） 計5名（随行なし）

◇視察先

《第1日目／1月20日（月）》

○福岡県議会

《第2日目／10月31日（火）》

○佐賀県議会

○環境芸術の森

◇視察日程

	行程
1 月 20 日 (月)	09:00 新大阪駅・集合 09:17 新大阪駅・出発（JR 新幹線のぞみ 7 号） 11:45 博多駅・到着 13:10 福岡県議会へ（以下、移動は 2 日とも借上げジャンボタクシー） 13:30 福岡県議会 視察 15:30 終了、出発 15:45 宿泊施設到着
1 月 21 日 (火)	08:10 宿泊施設出発 10:00 ①佐賀県議会 視察 11:30 ①終了、出発 13:30 ②環境芸術の森 視察 14:30 ②終了、出発 新鳥栖駅へ 15:30 新鳥栖駅 到着 16:08 新鳥栖駅 出発（JR 新幹線さくら 562 号） 18:59 新大阪駅 到着・解散

◇視察の内容

○福岡県議会：スタートアップ支援について

（目的）

大阪府では、4 月 13 日から大阪・万博開催を控え、新しい大阪の技術を世界に広め、また、認識していただけるよう、スタートアップ支援、創業支援に取り組んでいるが、まだまだ取り組んでいく必要がある。福岡県では、「福岡ベンチャーマーケット」「福岡県アクセラレーションプログラム『ISSIN』」の取組みなど、様々な新しいスタートアップ支援に取り組まれていることから、参考にしたいと考えた。また、人手不足含め、外国人材に期待している点でも、

福岡県のスタートアップ支援の状況を調査研究したいと考えた。

（説明者）

商工部 新事業支援課 八重野係長

（概要説明・質疑応答）

◆事業概要

①FVM（フクオカベンチャーマーケット）、ISSIN GROWTH コースについて

大阪でも、起業を進めるスタートアップ支援を進めている。福岡県では、どのような政策でスタートアップを進めているか説明を受けた。福岡県では、FVM（フクオカ・ベンチャー・マーケット）と銘打ち、1999 年よりスタートアップ支援の会合を開催。会合は、資金確保や販路開拓などを支援することを目的としているとのこと。登録している企業は2800社以上、資金確保や販路開拓などの成約率は約 20%。上場した企業は、33 社にのぼる。

Q) ユニコーンのような企業は生まれたのか。

A) QPS という宇宙ベンチャー企業がある。上場して 1000 億円以上の売り上げがある。また、規模の小さな資金調達を目指す企業は、ISSIN GROWTH コースとし伴走支援を実施している。

Q) ISSIN というプランは、どういう意味か

A) 一心不乱の意味。15 社中 14 社が資金調達に成功した。

②福岡県 CXO バンクについて

九州大学と連携し、高度経営を対象とした人材バンクの運営を、令和 4 年 7 月から始めている。現在は、626 人が登録し、37 件のマッチングが成立。

Q) どのような方が登録するのか。副業は OK か

A) 50 歳以上の方が多く登録している。副業は OK。週に 2 時間働くという感じ。だが、高給である。大阪からの登録もある。

Q) 県が運営をするのか

A) 民間人材バンクの「パーソル」に依頼している。福岡銀行を中心とした大学向けの投資の連携も図る。

③CIC との連携について

今年春に、CIC（ケンブリッジイノベーションセンター）が福岡市に、アジア 2 か所目の拠点が開設。福岡県では CIC 東京に福岡県オフィスを開設し、CIC との関係を築いてきている。福岡に拠点「グローバルコネクト福岡」ができる事で、その施設内にスタートアップを始めとする中小企業のビジネスマッチングや資金調達、海外展開支援の充実を図ることができる。

Q) 開業予定は

A) 2026 年 4 月を考えている

Q) CIC と連携することのメリットは

A) MIT（マサチューセッツ工科大学）やハーバード大学との連携がとれ、世界の投資家から注目を集める事が出来る。

④グローバル化に向けた取り組み

グローバル化に向けた取り組みが、必要とされている。金融機関や投資家の集積を図るため、「金融・資産運用特区」の認定を受け、産学官が一体となって取り組んでいる。

Q) 知事のトッププロモーションは

A) 知事が好きである。2023 年には、ボストンへ行き資産運用会社にアプローチをした。知事から、英語力強化を言われシリコンバレーの起業家を招き、個別指導などを取組む。

Q) どんな内容か

A) 英語でのプレゼンテーション力を高める

⑤

福岡県では、産業拠点の 4 か所に特色ある産業を集積しようと考えている。福岡では IT、筑豊方面はブロックチェーン、南部はバイオ、北九州はモノづくりと考え、地方課題の解決をテーマに「福岡よかとこビジネスコンテスト」を開催し、創業の促進と IPO チャレンジゼミナールなどを開催し、意欲のある方を募っている。

（まとめ）

福岡県では、スタートアップ企業が増えていると聞く。説明を通じ、県の援助が充実していると感じたところ。インキュベーターも充実。金融特区では、大阪も金融都市を目指しているが、福岡も進んでいる。また、CIC という MIT（アメリカ・ボストンの工科大学）を中心としたグループとの連携は強い。また、知事のトッププロモーションに対する意気込みを感じた。

福岡を参考として、これからも大阪から多くの起業・創業を生み出したいと考える。

福岡県議会：使用済み EV バッテリー資源循環システムについて

（目的）

福岡県では、「グリーンEVバッテリーネットワーク福岡」を設立し、今後急速な増加が見込まれる使用済みEVバッテリーの資源循環システムを構築されようとしている。これは全国に先駆けた取り組みであることから、大阪府においてのEVの普及に伴う課題（レアメタルの調

達・EVバッテリーの資源循環)の解消に向けても、調査研究したいと考えた。

(説明者)

福岡県環境部循環化社会推進課 高木係長

(概要説明)

・GBNet 福岡の取り組み

EV バッテリーの資源循環モデルの構築に向けて課題を整理し、取り組みの方向性について議論するための『グリーンEVバッテリーネットワーク福岡』愛称：GBNet 福岡が令和6年4月に設立された。自動車メーカー、バッテリーメーカー、再エネ事業者、非鉄金属リサイクル、シンクタンクなどのキープレイヤーの企業が参加。

(EV バッテリーの現状)

EV 普及にレアメタルは海外からの輸入に100%依存。

輸入国に偏りがあり、紛争等が起こると不足する。

再生材の使用が必須になるEU バッテリー規則への対応が必要。

(福岡モデルの目指す姿)

EV バッテリーの回収、リユース・リサイクル、再製造の循環工程が地域内で完結できる『福岡モデル』の構築

課題：現状、取り外し・回収時にほとんど海外に流出している

(北部九州自動車産業グリーン先進拠点推進構想)

生産台数重視の施策からの転換。世界に選ばれ、未来に向け成長を続ける自動車産業拠点としての発展を目指す。

産官学一体となり、電動車の拠点化を含む、CASE に対応したサプライヤーの集積、工場や輸送分野の脱炭素化の実現、先進的なクルマ・モビリティの実証からなる目標に向けて新たな構想を推進する。

(福岡県リサイクル総合研究事業化センター)

全国でも数少ない、自治体が設立した3R 専門支援機関として2001年設立。産学官民連携による新技術の事業化や社会システム構築を支援している。

(質疑応答)

Q、EV バッテリーは多くが海外に流出しているとのことだがなぜか？

A、海外では日本製EV 車が高く評価されているため、国外に流通してしまう。

Q、実際にリサイクル・リユースされているEV バッテリーやEV 車の数は把握されているの

か？

A、まだ個数ははっきりとしていない

Q、EV 車からのバッテリーの安全な取り外しとはどういうことか？

A、EV 車に積載されている EV 電池は一般的に 300 kg～400 kg もあり、その重量から取り外しは非常に困難なため

Q、大規模な事業になると考えられるが、用地は十分にあるのか？

A、埋め立て地を含めて十分にある

福岡県議会：職業訓練（介護サービス科）について

（目的）

福岡県の職業訓練では、大阪府では実施のない、県立施設での介護福祉士実務者研修等を実施されている。介護分野での人材確保・定着、生産性の向上をめざす大阪府としても、公的施設がこれを実施するにあたって直面している人材育成における課題や受講生の傾向など、調査研究したいと考えた。

（説明者）

福祉労働部 労働局 職業能力開発課 江口係長、小竹高等技術専門学校 矢山課長

（概要説明）

福岡県内では、職業訓練を障害者校含め 8 校で実施しており、全国でもこの数は多い。うち戸畑校・久留米校・小竹校の 3 校に介護サービス科があり、県内ではこの 3 校体制で実施している。

1. 施設内訓練における介護サービス科の現在までの経緯

1995（H7）年、久留米高等技術専門学校（筑後地方・久留米市）に、介護サービス科が県内初めて設置されました。その後 1998（H10）年には戸畑校（北九州市）に設置、さらに 2001（H13）年には小竹校（筑豊地域）に介護サービス科を設置、現在では県内 3 校体制を確立している。

（全国共通の）訓練内容について、黎明期は訓練期間 6 か月、定員 20 名であった。訪問介護員いわゆる訪問ヘルパーの養成研修 2 級課程と 1 級課程を 6 か月の中で連続して行う連続課程であった。当時は無資格者でも介護現場の実務経験が 3 年あれば介護福祉士（国家資格）を受けることができた。介護福祉士の資格者は増加したものの、一方で介護福祉士養成の専門性の育成という点では、現場上がりのヘルパー養成課程で「介護課程」を学ばないまま国家資格をとってしまうスキームとなっていたことから、そうした側面の解消も含め、「介護課程」を加えた介護職基礎研修課程とホームヘルパー 2 級課程のあとを引き継いだ介護職初任者研修課程が 2010（H22）年から課程変更としてスタートした。2014（H22）年から、介護課程教育の充実を目指し介護福祉士実務者研修（現行）が始まった。

県内では3校まとめて実務者研修が行われていたが、2018（H30）年、小竹校で介護福祉士実務者研修の訓練期間を6か月から1年に延長した。理由としては、民間の養成校では6か月が一般的だが、受講者の中には、理解に時間のかかる中高年層や中卒者の方、発達面に課題を持っている訓練生の方、総体的にそういった方の増加があった。職業訓練の運営側としては、「就職したかったところとは違った」ということがあると、職業訓練としては致命的なので、ミスマッチを防ぐため、15日間程度の現場研修だとか、その前後に準備や振り返りのような前後の演習を行っている。

また、障害者支援事業所に就職したいという就職ニーズも次第に増加してきており、関連資格を期間中に取得を目指したり、現場での記録・計画立案などでパソコンの実技訓練が必要になった等があり、県民からのニーズもあることから、小竹校が先行して1年訓練に移行している。小竹校については就職内定率や、介護職に在職してからの継続率、実際に卒業した訓練生の満足度等で非常に有意な結果が得られたこともあり、5年後の2023（R5）年度より戸畑校、久留米校も1年課程に移行してきた。

2. 介護サービス科の現状

過去3年間の応募～入校～修了～就職が概ね85%の高値を示している。生徒はよく集まり、就職にもきちんと送り出せている状況である。従来は70%以上が女性で、圧倒的に女性が多かったが、2008（H20）年のリーマンショック以降は男性の訓練生も非常に増加しており、現在は男性女性の人数的に差がない状況が出てきている。事実介護の現場でも男性職員の割合が増えているという状況にある。

3. 他県の状況

全国でも介護職員の養成を行っている施設内訓練はそんなに多くない。関東圏で2、北陸で1、瀬戸内海に面した県で4程度です。どちらにしても1年間訓練の施設内訓練を行っているのは本県のみという状況。

4. 特色について

- ① **じっくりと** 1年課程とあるが実務者研修は4月～12月であり、実質9か月であった。1.5倍の期間になったことでじっくり学べる体制が整った。最後の一人が理解したら次に進むということを意識して行っている。
- ② **ミスマッチなし** 高齢者施設・通所（デイサービス）・訪問介護・障害者支援施設など、資格を取ったあとに就職できる施設での実習でトータル15日程度、校外実習を行っている。それぞれのカテゴリーの実習に行くことで、自分に合った現場が見つかることにつながる。
- ③ **経験者に負けない** 訓練生は現場経験のある方もいますが、全員が無資格者です。訓練期間が延びたことで就職に役立つ付加資格を取得できる。実務経験のある方と採用試験で対等に渡り合えるようになる。
- ④ **パソコンに強くなる** 1人1台、初歩的なパソコン技術をしっかり学んでいく。表計算部門3級の資格を取得できる。現場に行った後パソコンができなくて困るということがないように訓練を行っている。

4月から9か月かけて介護福祉士実務者研修を学び、同時に地域レク（福岡県認定資格）、レクができる人はかなり現場からの引っ張りがあるため、同時に学んでいく。12月までで資格取得後、年明け3か月でパソコン資格・障害者支援の資格（強度行動障害支援者養成研修、

現場で引きの強い資格)、また資格取得とまではいかないが手話などのニーズにも対応できる。就職活動と付加資格取得が 3 か月の主題となる。

(質疑応答)

(質問 1) 4 月～12 月で 9 か月間のカリキュラムが終わった後、別途 3 か月の研修は希望者だけか？

→希望者だけではなく、全体で受けてもらっている。中には資格不要者もいるが、将来的に障害者施設で仕事をする際にはかなり役に立つ資格のため、取得いただいている。

(質問 2) 大阪の技術専門学校でも年度途中で就職が決まったら辞めてしまう人がいる。同じ状況か？

→介護福祉士実務者研修が本丸なので、取得後は現場にいち早く行きたいという方が少しいる。3 年経てば介護福祉士の国家資格が取れるため、早く現場に出たい方もいる。

(質問 3) 3 校で授業料に差 (50,000 円と 54,000 円) があるのはなぜか？

→1 校のみ取れる資格が 1 つ多いため、その差となっている。

(質問 4) 大阪の技専校では電気設備科が人気、大幅に定数を超えるため、たくさん落ちるが、何科が人気か？

→福岡の都市圏内にプログラム関係の企業が多くあるため、プログラム系 (プログラミング) が人気 (30 歳以下対象)。あとは建築系、以前は大工見習のイメージから、今は宅建・建築士養成に切り替わってきており、女性が増えてきた。

(質問 5) 民間の専門学校との兼ね合いについて。福岡でこれだけ技専校があって、民間から文句が出ないか？

→民業圧迫、その側面はあるかもしれないが、介護サービス科は 3 校とも地域にあるような形であり、福岡市には介護サービス科がないため、民業を圧迫してはいないと捉えている。

(質問 6) 大阪の技専校は受講者が右肩下がり、どんどん減っている状況 (自動車整備工などあらゆる部門で危機的状況) だが、福岡県の入校者数は右肩あがりなのか？

→介護について、そういった時期もあったが、介護福祉士を養成する専門学校が撤退しており、県南には民間の養成校がない状況。県の養成校頼みなところもある。モノづくり系は落ちてきている。自動車整備科は大阪の企業からの求人が来ているが、溶接・機械加工などは苦戦。

(質問 7) モノづくり系は求人がない・就職率が良くない・子供が減っているから、というような理由か？

→不人気と捉えている。企業から頻繁に人材を求める連絡があるが、紹介できる人材がいない状況。

(質問 8) 就職された後の状況はどうか？

→修了後 1 か月・3 か月・6 か月後に修了生に連絡。続いているかどうか、困りごとがない

か等の聞き取りを行い、必要に応じハローワークに促したり、面談したりアフターフォローを行っている。

（質問 9）離職される方は多いのか？そういうミスマッチを防ぐための研修の効果（15 日間）は？

→介護は離職率の高い業種、人間関係・条件の相違などから離職され、違う職場の紹介はある。研修について、一定の効果はある。4 月に高齢者施設・障害者施設を見学、どちらかを選ぶ（後で変更可能）その後 10 月に実習、だいたい 12 月に方向性を決める。2 月の校外実習では、自分の選ぶ方向性で間違っていないか確認するための実習をしている。

（質問 10）年齢層は？どのような年代の方でも終了後、介護分野で就職されていくのか？ミスマッチはどうか？

→平均 45 歳前後。事務系出身が多く（事務系は 20 代を中心に採用されるため）出産育児のあと事務系に戻るのが厳しいことで、介護を選ぶ方も多い。また 3 年以上の現場経験者（無資格）が介護福祉士を取ったとき、実務者研修に 6 か月研修ではついていけないため 1 年研修を求めてくる方もいる。また年代については、その年代に合った現場がある。一回退職し介護職をされる方は、細く長く働けることを求めてくるため、訪問介護で週 3 回勤務という方もおり、最高齢では 68 歳の方もいた。そういった年代ではミスマッチが起こりにくいかもしれない。

（質問 11）大阪では高校新卒者への積極的なアプローチがないが、新卒の生徒も来ているのか？府の民間企業側から技専校卒業生に対する信頼度は、民間専門学校の卒業生よりも高く、アプローチのある企業は大手含め、専門学校の就職先より良い企業が多いと聞く。新卒学生に積極的に案内しているのか？ハローワーク・失業保険で成り立っていると考えるとシステマ的には、就職～失業になるのか？

→やはり大々的には民間の専門学校もあるため、知名度は低い。ただ進路指導の先生がハローワーク経由で知られ、こちらが説明に行くこともある。中卒・高卒と今は進学率も上がり、就職率もよいため、訓練校に来る方は少ない。特性を持たれている方もいる。民間の専門学校と同じ扱いで入学できる。しかし離転職者の方がメインなので、割合は低い。30 歳以下限定の科もあるため、そこは学卒の方も入れる。ハローワークには新規学卒者の専門支援部門がある。

（まとめ）

今回の福岡視察を通し、介護職を取り巻くこれまでの経緯、介護サービス職の訓練の必要性・有用性、公民の役割分担、介護職に対する状況を確認することができた。人手不足はどの業界でも起こっていることだが、とりわけ介護職は不足していると聞く。そうした状況で、体系的な学びを含めた長期的な職業訓練は就労後の定着にもつながる意味のあることと感じた。

職業訓練はその地域で必要な人材を訓練・育成していくことから、大阪でこういった職業訓練を実行していくべきなのか考えるよい機会となり、今後の府での職業訓練の方向性を考えていきたい。

【福岡県議会 写真】



佐賀県議会：有明海再生に関する佐賀県計画について

（説明者）

佐賀県県民環境部 有明海再生・環境課 熊森 昇 技能管、川崎 慶一 副課長

（概要説明）

有明海再生に向けた取り組みについて

（質疑応答）

有明海は佐賀県、長崎県、福岡県、熊本県に囲まれ、大小 100 を超える河川が流入し、栄養分に富み穏やかな典型的な内湾性の好漁場を形成。また、全国有数の海苔の生産量を誇る。しかし、海域の状況が変化し、魚介類資源の減少、漁場機能の低下が課題に。

有明海八代海等再生特別措置法が施行され、法に基づき佐賀県も計画を策定し、取り組みを進めている。

海域環境の保全及び改善については、水質環境基準の達成・維持、赤潮の発生及び貧酸素水塊の発生抑制による多様な生態系の回復、干潟の保全などに取り組む。

水産資源の回復等による漁業の振興では、海苔養殖業における漁場の収容力に応じた安定的・持続的な生産、漁船漁業では資源減少の原因究明と資源量の回復などに取り組む。

（１）海域での取り組み

- ・ 海域環境の保全改善

海底耕運、浚渫、覆砂の実施

海域環境への負荷量の削減

海苔養殖における酸処理等の適正仕様

- ・ 海岸海域の浄化対策

漂着漂流ゴミの回収

有明海クリーンアップ作戦による海岸清掃

地域住民による啓発によるゴミ抑制

- ・ 水産資源の回復

水産動物の種苗の放流

資源管理の推進、禁漁期間の設定

有害動植物の駆除

- ・ 漁業の振興

増養殖施設等の整備

共同利用施設の整備、海苔協業化の推進

漁港の整備、泊地浚渫等

基本施設の改修や、長寿命課対策実施等

（２）流域での取り組み

- ・ 汚濁負荷量の削減

下水道等の整備、工場事業場の排水対策。畜産排水対策により生活排水による影響を減少。

生活排水対策推進計画を策定し、施策を推進している。

下水道は、有明海海域別下水道整備計画を策定して、市や町と協議して進めており、市町と連携して施設の高度化を進める。

- ・ 河川水路等の浄化対策

有明海に流入する河川の対策として、多自然川づくり整備を推進。

森と川と海は一つという考え方から、森川海人プロジェクトを推進。

森林エリアにおいても、山川海を守る多様な森林づくりの推進を行う。

さかの森林林業ビジョン 2023 を策定し、間伐実施や広葉樹林化、県民共同による森林づくりを推進。

（３）個別具体の施策詳細

- ・ 浚渫等によるウミタケ資源の創出について

有明海は内湾で閉鎖的な海域。多数の河川があり、山から泥等が溜まってくる傾向もある。漁港や漁場に泥が溜まると、様々な影響が出るため浚渫を実施している。

ウミタケは二枚貝で、有明海の特産種。平成 13～17 年までは簡易潜水機漁で約 100 トンを超える漁獲だったが、資源量が減少し、平成 19 年以降は休漁。

漁業者から資源回復への取り組みに対して強い要望があったこともあり、資源回復に取り組んでいる。

具体的には、稚貝の生産・移植による資源回復に取り組んでいる。

漁場の造成は、浚渫による盛土を行う。種苗生産技術については、稚貝を数十万個規模で生産する技術を確認。稚貝移植については、一つ一つ手で植えていく方法をとっているが、資源を増やすという観点からは課題が大きすぎるので、別の手法を研究中。

・有明海の海域環境の改善と二枚貝の回復を図るための牡蠣礁造成交換検証

平成 29 年 3 月、国において設置されている有明海八代海総合調査評価委員会の平成 29 年 3 月の委員会報告で、再生方策の事例として牡蠣礁再生の実証事業が示された。

佐賀県海域では、漁業者や民間団体による牡蠣礁再生の取り組みが進められているが、その効果については定量的に評価されていなかった。

そこで、有明海再生方策検討事業（牡蠣礁造成効果検証事業）として、令和元年～5 年度まで実施し、さらに 5 年の延長が決まったところ。

牡蠣礁は上方向に広がる傾向があり、漁業の妨げになるケースもあり、漁業者からの要望もあって撤去していったところ、平成 10 年には 416 ヘクタールまで減少した。現在はそこから回復していった状況。

牡蠣の機能について、水質浄化機能では汚濁した水槽浄化実験では 3 時間で牡蠣が視認できる状況になり、濁り除去効果を確認。植物性プランクトン除去効果では、実験海水では実験前 41 種が 18 種まで減少し、細胞数では 92%の除去効果を確認。

造成牡蠣礁の底生生物調査では、牡蠣礁があるところは種類数も多く、個体数も非常に多い。活動団体について、漁協 7 ヶ所、NPO2 団体へ造成状況をヒアリングした結果、造成資材の竹の入手が困難であることとコストが高いこと、造成の際の竹の運搬、設置に多大な労力がかかること、牡蠣礁になるまで最低 5 年かかり、活動意欲継続に課題がある、などの点がわかった。

造成資材のコスト高を解消するため、安価で耐久性のある鉄線を干潟に直接打ち込む手法で造成試験を実施中。

（まとめ）

これらの取り組みは、大阪湾においても、海洋環境の改善や、水産資源の回復に向けて、取り入れることのできる知見が多く含まれるものであった。特に、大阪湾南部においては牡蠣の養殖が盛んになっており、さらなる大阪湾の水質改善に向けて牡蠣の果たす重要性を認識し、今後の取り組みをより推進する必要性に対する気づきを得た。また、令和 8 年には大阪府でも全国豊かな海づくり大会開催が予定されているが、沿岸部のみならず、府域全域で取り組みを広げていくタイミングであり、佐賀県が、森と川と海は一つという視点から実施している森川

海人プロジェクトなどの、沿岸部以外の住民等を巻き込んだ取り組みも、今後の大阪府の取り組みに多いに活かせる事例である。

【佐賀県議会 写真】



環境芸術の森

(説明者)

環境芸術の森 畦間 京子 氏

(概要説明)

環境芸術の森は昔の森を取り戻すをコンセプトに約10haの私有林を年月を掛けて人が手を加える事で再生した、「豊かな自然と芸術的な森で空気をきれいにする」「森を育めば昔の森や川、海を取り戻す事が出来る」をもとに環境問題、観光での町おこしを考えた施設。

四季それぞれ違った景色を楽しめる施設で県内外の観光客、学校での遠足、現在はSNSの効果もあってインバウンドの観光客も増え佐賀県の観光スポットの一つである。

(質疑応答)

A 民間の施設で、私有地に手を加えて芸術的な森を作り上げた、風遊山荘は海岸にあった建物そのままをここまで運んで使用しているということだが、施設を管理する為の資金は？

Q 入場料やクラウドファンディングも行った。

A ペットの入場は可能か？

Q ペットと共に観光する方々も増えていて入場可で対応している。

A インバウンド客は？

Q SNS の反響もあり年々増えている。

【環境芸術の森 写真】

